



市保連 だより

2009
(6月)

[第385号]

平成21年6月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 重岡 啓一
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 鬼塚 静波
委員 建川 美徳
委員 村上 美逸
委員 平川 裕季子
委員 伊形 けい子
委員 石井 福栄
委員 石角 奈二郎



理事会

はじめまして 村上と申しま～す。

熊本市保育園連盟 事務局長 村上 博一

平成21年4月1日より、保育園連盟にお世話に成る事になりました村上と申します。どうぞ、よろしく願い申し上げます。前職は、熊本市役所で37年間、土木技術職の職員として勤務してまいりまして、保育関連の仕事には、タッチした事がありません。本当に素人でございます。あえて関連付けをさがしますならば、約30年前、私の子どもが保育園にお世話になっていた時と、現在3人孫がおりますが、この孫達がそれぞれにお世話になっているくらいです。従いまして、仕事の面では、それぞれに御迷惑をおかけする事と思っておりますが、よろしく願い申し上げます。そんな私に原稿の依頼が来まして、さて、何を書こうか、頭の中でアレコレ考えて見ましたが、なかなか思いうかびませんので、常日頃の人生観とでも申しましょうか、思いを少し述べさせていただきます。

さて、的外れの話になるかもしれませんが、御案内の通り地球誕生から46億年という気の遠くなる様な時間が過ぎていきます。さらに人類が誕生してからしても500万年、その様な中、私達の一生を考えますと、たとえ100歳まで生きたとしても、宇宙と比較しますと、瞬く時間でしかないのも現実であります。しかし、されど人生であります。喜びがあったり、悲しみがあったり、感謝があったり、憎しみがかったり、多種多様であります。そして、その事が人生そのものでもあります。その様な中、子どもに目を向けて見ますと澄みきった瞳、そして“すなおな心”、子どもを見ているだけで、大人に取りまして、心がなごむ時でもあります。なぜでしょう

ネ、そこに人としての原点を見ることが出来る様な気がします。

さて、子どもは、親の背中を見て育つと良く言われますが、私も同感であります。では親としてどの様な対応をしたら良いのでしょうか。子育ての専門書を買って一生懸命勉強し、〇△ーをして育てたとしても、理想的と言えるのでしょうか？私は違うと思います。なぜなら、そこには血のぬくもりもなければ、心もないとまでは言わなくても所詮、専門書は専門書にすぎないからであります。従いまして、私の子育ては、妻と相談しながらではありましたが、二人で一生懸命育てた子どもでありますので、高望みをする事なく、そして、子どもには子どもの人権があり、そして人生もある訳ですので、自然体で育てて行こうという事にしました。その結果今の所、人様に迷惑をかけることはない様な人生を、それぞれに送っている状況でありますので、妻と二人でホッとしているのが、正直な所であります。今後も同じ様な気持で、子ども、そして孫を含めて良き人生のパートナーでありアドバイザーとして、人生の並木路を、妻と二人で歩いていきたいものだと考えている今日この頃です。

最後に、この様な機会を与えて下さいました理事長を始め、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。ペンを置く事にします。





保育士会

3年間を振り返って

小山保育園 保育士 樫木 聖子

私は、短大を卒業し、小山保育園で保育士として働き、今年で4年目を迎えました。3年間を振り返ってみると、実際に就職して思った事は、学校で学んだ事がすべてではないという事でした。子どもの行動は毎回同じではなく、その時によって対応も違い、子ども一人ひとりによって関わり方も違うという事を子どもを通じて学びました。初めは戸惑いもあったのですが周りの先生方に教えて頂きながら、少しずつ出来る事も増えてきています。

そして、子ども達と毎日共に遊び、過ごしていく中で、悩んだりする事もありますが、その度に子ども達の何気ない言葉だったり、笑いかけてくれる姿を見ると、よし、頑張ろうという



力をいつももらっています。また、私だったら見逃してしまいそうな子どもたちのとても素敵な発見にはいつも驚かされています。私自身、子ども達にたくさんの事を教えてもらっているような気がします。

今年は、5歳児を担当していますが、日々子ども達と共に遊び共に考えながら過ごしています。これから年長としての活動もたくさんあると思いますが、子ども達の成長をそばで見守りながら、一緒に乗り越えていきたいと思っています。

子どもの成長に携わり、子ども達と共に毎日を過ごせる保育士という仕事は素敵だと思います。これからも、子ども達と一緒に私自身も成長していきたいと思っています。



調理師会

安全で安心できる給食作りをめざして

帯山保育園 調理師 坂本 理奈

朝から出勤し給食室に入り仕事をはじめると、「今日のごはん何？」と聞いてくる子ども。字が読めるようになると、給食室の窓に掛けてある献立を読みあげる子ども。好きなメニューだと、「ヤッター!! ヤッター!!」と大喜びで他のお友達に給食のメニューを教えてあげたりと、朝から給食室の周りは大賑わいです。そんな子ども達の様子をみると、私達も「よし! 今日頑張っておいしく作るぞ!!」と気合いが入ります。

いろんな食材を使い、どんな物でも食べてくれるように、子どもの苦手とする食べ物には、味付けを変えてみたり、それでも進まなかった時には、もう一度別の味付けや調理法でやってみたりと子ども達が一人でも多く食べてくれるように日々試行錯誤しています。

そういった中、現在では食材の原産地の偽装、賞味期限の誤った表示、異物の混入など私達消

費者を脅かす問題がたくさん出てきています。このような食べ物を子ども達にあたえないためにも、給食を作る私達は十分にチェックを行い、様々な情報に耳をかたむけ、すぐに対応して行ける様な態勢を整えて、子ども達が安全で安心できる給食作りを心がけていかなければいけないと思います。そして帯山保育園の子ども達皆が元気でもりもり食べて健康に成長していく様、子ども達の明るい笑顔をパワーにして、今後もおいしい給食を作り続けていきたいと思っています。





園長会

健やかな発達を支援するために

のぞみ保育園 園長 本田 千春

今般4月1日付でのぞみ保育園長に就任しました。私は社会福祉分野の老人福祉や身体障害者福祉に昭和54年から30年間携わってきまして、定年退職で前職場から児童福祉の保育園に勤務する事になりました。前職の老人福祉も就職した、昭和50年代は施策も施設福祉だけでした。そして60年代になって施設福祉から在宅福祉へと変化し、平成になり市町村に福祉計画策定が義務付けられ、介護保険法や障害者自立支援法により福祉サービスも地域に密着する方向や施設利用者も地域移行が推進され地域福祉の方向に進化して来ました。

幸いに私は、上記施策の変遷を経験させて頂き特に在宅福祉の先駆けとなる老人のデイ・サービスの運営に県下で最初に携わった中で、多くの見学者の方々へ、子ども達は「保育園・幼稚園」に通っているが将来老人や障害者は「デ

イ・サービス」に通って利用する時代になると説明した事を思い出します。

保育園は保育に欠ける子どもの保育やそれを行うための保護者との連携や地域との連携を通して、健全な心身の発達を促すのが役割との認識がありましたが、研修を受講してみると現代では保護者への支援や指導も行うとの事で役割の拡大。そして求められるニーズも時間を広げた延長保育や休日保育、認定保育所等々と感じています。

当園の目標に、明るく、仲良く、元気な子どもを目指し、人に対する愛情と信頼感そして人権を大切にする心が育つように、職員一丸となり支援したいと思います。



6月の予定

会合	担当年齢	日	時間	会場	研修内容
年齢別研修会・実技研修会	0、1歳児	19(金)	14:00 ~17:00	浜線健康パーク	「3B体操」 講師 日本3B体操協会 大塚 美和氏
	2歳児	17(水)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「おはなしとわらべうた」 講師 熊本保育ビジネス専門学校 佐藤レイ子氏
	3歳児	11(木)	14:00 ~17:00	子ども文化会館	「実技研修会 製作(作って遊ぼう)」 講師 子ども文化会館ボランティア 大津山 琢氏
	4、5歳児	18(木)	14:00 ~17:00	浜線健康パーク	「実技研修(集団あそび)」 講師 太陽スポーツクラブ 菖蒲谷 誠氏
	実技研修	24(水)	14:00 ~17:00	浜線健康パーク	「乳幼児期の体育あそび」 講師 High Field スポーツ井村教室 井村 直子氏
保育士全体研修会		6(土)	14:00 ~17:00	崇城大学市民ホール(市民会館) 2F 大会議室	
保育士役員会		16(火)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 5F 小会議室(洋)	
調理師役員会		4(木)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 5F 小会議室(洋)	
理事会		9(火)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室	
園長会		25(木)	14:00 ~17:00	くまもと県民交流館パレア 9F 会議室1	

ご結婚おめでとうございます

口力合さくら保育園 5月23日 栄養士 中村 未来(旧姓 加藤)

子どもの喜びや幸せのために保育力を高めよう

保育指針の改定では、保育は各園の創意工夫のもと規範意識をもって実践にあたり、子どもの健やかな育ちを保障し、併せて保護者への支援をおこなうため、職員それぞれが専門性を発揮するようになっていく。そして、子どもたちの成長や家庭の幸せを共に喜びあうために、一人ひとりが保育力を高め、誇りと責任もてる保育者となる必要であると考えられる。

<全体研修会>

保育に誇りと責任の持てる人材の追求

保育研究大会
保育所における保健衛生 ～子どもの健康と安全を見つめなおそう～
新任職員研修会
社会人としての基本的なルールやマナーを学び、保育士としての専門性を高める。
実践保育研修会
保育実践記録を通して子どもの発達を促し、自己評価をしながら保育課程を考える
障がい児保育研修会
子どもたち一人ひとりの特性・困り感に「気づきの目」をもち、どの子ども自分らしさを発揮しながら成長するために必要な「工夫・支援」を学ぶ。
子育て支援事業
「育ちの喜びを皆と共感する」 ～支援の温かさの空間(保育園)を知る～
看護師等研修会
「保育所保育指針」の改定にもとめない、新「保育所保育指針」の第5章に保育所における子どもの健康支援、環境及び衛生管理並びに安全管理などについて書かれている。毎日の園における保健活動に活かすために看護師等は、どう取り組んだらいいのかを学ぶ。

<園長会>

子どもの視点に立ち、時代に即した保育園のあり方を求めて

1. 時代の変化に対応するため、身近な問題について認識を深め連帯感を高める。
2. 保育所の役割や社会的責任を果たすため園長としての専門性の向上を図る。

<保育士会>

育もう、生きる力と豊かな感性

全体研修会	
子どもの育ちを支える為の役割を考える	
主任保育士等研修会	
主任保育士としての役割と責務	
合同研修会 (保育士・調理師)	
生きる力を育む	
年齢別研修会	
0・1歳児	新保育所保育指針を踏まえた0・1歳児の育ち
2歳児	新保育所保育指針を踏まえた2歳児の育ち
3歳児	新保育所保育指針を踏まえた3歳児の育ち
4、5歳児	新保育所保育指針を踏まえた4・5歳児の育ち
オリジナル 実技	保育の専門性を高める実技研修

<調理師会>

楽しく食べられる子どもに

全体研修会	
“食を営む力”の基礎を培う	
合同研修会 (保育士・調理師)	
生きる力を育む	
ブロック研修会	
東	子どもの心とからだの健康づくり ～食を楽しむ、学び育む～
西	安全な食材を使ってバランスの取れた給食作り ～食を通して、いのちの育ち、自立心を育てる～
南	楽しい食事を ～生活のリズムと食事のバランスを考えながら～
北	給食を通じて、子どもの食への関心を育もう ～楽しく、元気な体づくり～
中央	目指せ！段階的な食育 伸ばせ！子どもの五感 ～学びを広げよう 給食室から食育知識～